

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	296年後の世界自然遺産登録をめざす、木島平村カヤの平高原におけるブナの森づくり
事業主体 (連絡先)	NPO 法人森のライフスタイル研究所 080-3088-5412 info@moridukuri.or.jp
事業区分	(6)-ウ 森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,812,720 円 (うち支援金: 827,000 円)

事業内容

1. 都市と地域交流型の森づくりの実施

木島平村カヤの平高原の未利用放牧地にて、ブナ原生林の林縁部から実生の苗木を掘り取りとそれを植樹しました。

【開催日／参加者数】

平成28年6月25日～26日／43名

平成28年9月10日～11日／40名

平成28年10月15日～16日／中止

【植樹本数】 合計1,200本



【ブナの植樹】

【目標・ねらい】

- ① 植樹本数
- ② 交流人口の増加
- ③ 経済効果
- ④ 地域との関係深化

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①植樹本数

目標 5,000 本→実績 1,400 本

②交流人口の増加

目標 90 名→実績 83 名

③経済効果

目標 150 万円→実績 106 万円

④地域との関係深化

下高井農林高校との関係深化

※自己評価【 B 】

【理由】

植樹本数の達成低迷したため（異常気象の影響によりブナの幼樹が霜枯れしてしまったため、掘り取りができるものが、少なくなってしまった。防ぎようのない理由のため B と判断した）

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本年度、大きな目標としていた「地域との関係深化」の象徴である下高井農林高校とのジョイントが実現できた。今後は、この関係をさらに太くしていく施策を考え、次代を担う層に、地域の大切な資源であり、地域資産である「木島平米」の収量に影響を及ぼす、カヤの平のブナ林の貴重性を理解してもらいます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある